

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		井川 浩輔	所 属	観光産業科学部 産業経営学科	職 名	准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	①教育に関して、本年度は「経営学演習Ⅰ」において、県内企業等においてフィールドワークを行う実践的講義を新たに開発し実施することによって、URGCC学習教育目標の達成を目指す。 ②学生支援に関して、本年度はICT等を活用して継続的に就職活動をサポートできる体制を新たに構築し、経営学演習の受講学生個々人の状況に合わせたサポートを行う。		0.20	①教育活動に関しては、「経営学演習Ⅰ」で県内企業においてフィールドワークを行う実践的講義を新たに開発・実施した。講義開発では、資格取得と現地調査を融合できるような工夫を初めて行った。その結果、受講生は1つの講義で、資格に関連する専門知識とデータの収集・分析方法、現場における実践的取り組み、の3つについて学習することが可能になった。 ②学習支援活動に関しては、ICTを活用して経営学演習受講生の就職活動支援を行った。具体的には、電子メールを使用してエントリーシート作成に関連する指導を行った。また、電話による相談も必要に応じて実施した。最終的に、受講生全員が内定を取ることができた。		
研究	0.60	①これまで獲得した外部資金に関する調査等で収集したデータをもとに、査読付き論文を新たに1本以上執筆し学会誌に投稿する。 ②自分自身の研究の幅を広げるような紀要論文を新たに1本以上執筆し投稿する。		0.60	①これまで獲得してきた外部資金に関する調査で収集したデータを用いて、査読付き論文を新たに2本執筆して学会誌に投稿した。現在査読中であるため、雑誌名など詳細については言及できない。また、別の学会誌へ投稿する査読付き論文で用いるデータの分析も実施した。 ②自分自身の研究の幅を広げるために、経営学教育に関する紀要論文(琉球大学経済研究)を新たに1本執筆し投稿した。また、この論文に関連するシンポジウムにも参加して情報収集を行った。		
社会貢献	0.10	管理職等を対象とした経営学に関する研修を1回以上実施して、社会におけるニーズに貢献する。		0.10	経営学に関連する研修を新たに開発して、病院組織の管理職を対象とした研修を1回、病院組織の新人を対象とした研修を1回、計2回の研修を社会貢献としてボランティアで実施した。研修開発では、医療現場で実践できるように病院組織が抱える実際の課題を用いて教材を作成した。		
管理運営	0.10	管理運営に関して、本年度は新たにグローバル教育支援機構アドミッション部門の併任教員等として、それぞれの委員会に参加し、大学の管理運営に関する情報収集や情報発信を行う。		0.10	新たにグローバル教育支援機構アドミッション部門の併任教員として委員会に参加し、大学の管理運営に関する情報収集や情報発信を行った。また、委員会ではワーキング・グループのメンバーとして活動を行った。		
	0.00			0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		王 怡人	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.20	概論科目の講義内容をわかりやすくする。 専門科目の内容をより実用的に工夫する。 成績不振者の相談に乗り、可能な限り問題解決に協力する。		0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・27年度後期の反省をふまえて概論科目の内容を整理し直した。ただ最低限で提供したい内容があるため、実際はまだ80%しか整理できていないのが現状である。 ・専門科目について、座学のみならずテーマを設定し受講者に提案してもらう工夫をした。問題は一部の学生から課題が多すぎるとのクレームもあった。この点に関してさらなる工夫を加える必要がある。 ・夜間生の成績不振学生からの相談は1件あった。前後期とも研究室にて面談を行った。結果、本人の経済事情により、しばらく休学という選択肢を選んだ。 			
研究	0.30	科研の最終年度なので、今までの研究結果をまとめて公表する。 観光とビジネスに関連するテーマで新しい科研費の申請を勤める。		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の調査結果を論文にまとめた。実績として単著紀要1編と共著紀要1編、大学学会誌の招待原稿を共著で1編が刊行された。 ・観光とビジネスに関連したテーマで新しい科研費の申請を試みたが、再三検討した結果今年の申請を見送った。その代わりに、吉田秀雄財団には共同研究の形で助成申請を行った。 			
社会 貢献	0.20	広告論、マーケティング論、戦略的マーケティングといった講義の公開。 産学連携のプロジェクトに協力する。		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・広告論の講義をRSECに提供し、マーケティング概論を公開授業として提供した。実績として、広告論とマーケティング概論にはそれぞれに1名の社会人の受講があった。戦略的マーケティングの公開授業としての提供は見送った。 ・9月に海外研修プログラムに学生を台湾に引率し、2月に学科主催の特別セミナーの開催に広報と会場の運営に協力した。 			
管理 運営	0.30	広報委員として学科の対外的情報発信を勤める。 特色のある琉大教育の考案に積極的に参加する。		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・学部と学科のホームページの運営と更新を定期的に行った。2017年度の簡易版が学部案内パンフレットのデザインを行った。 ・大学広報の要請に応じて、UI戦略会議に出席し、役員インタビューの内容分析を行った。分析結果を役員会議で報告した。 			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名前		宮国 薫子	所属		観光産業科学部産業経営学科
職名				講師	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.00	1. 授業15回における出席を毎回、確認し、担当科目の単位の実質化をはかる 2. 経営学演習Ⅱにおいて、4年生の進路指導の進捗状況を月1回確認する。 3. 経営学演習Ⅰ・Ⅱにおいて英語による授業を徹底する。 4. 経営学演習Ⅱにおいて卒業研究論文集を作成する。 5. ホームページに各授業の進捗状況をアップデートして学生に学びやすい環境を提供する。		0.35	1. 授業15回における出席を毎回、確認し、担当科目の単位の実質化をはかった 2. 経営学演習Ⅱにおいて、4年生の進路指導の進捗状況を頻繁に確認して、就職活動を促し、アドバイスした。 3. 経営学演習Ⅰ・Ⅱにおいて英語による授業を徹底した。 4. 経営学演習Ⅱにおいて卒業研究論文集を作成している。 5. ホームページに各授業の進捗状況をアップデートして学生に学びやすい環境を提供した。
研究	0.00	1. SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)に、おいて得られた調査結果を学会で発表する。 2. 琉球大学紀要「経済研究」に投稿する。 3. 国際会議(国際サンゴ礁学会)で、セッションリーダーをつとめる。 4. 国際学会誌に投稿する。		0.40	1. SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)に、おいて得られた調査結果をもとに、「Residents' Attitudes toward Tourism Development in the Republic of Palau」を、ナポリで6月に行われた観光政策学会(ICOT2016)で発表し、論文(Proceeding)を投稿し、掲載された。 2. 琉球大学紀要「経済研究」に「Exploratory Study on Sustainable Tourism Based on Residents' Attitudes toward Tourism, The Case of Iriomote Island, Okinawa Prefecture, Japan」を投稿した。 3. ハワイで6月に行われた国際サンゴ礁学会(ICRS2016)で、セッションリーダーをつとめた。 4. SATREPSを通して、「パラオ共和国におけるマリンツーリズム(シュノーケリング・ダイビング)におけるキャリングキャパシティの研究」のため、3月から、アンケート調査を行っている。 5. SATREPSを通して、パラオの中学生向けに、パラオのガイドブックを、作成している。
社会 貢献	0.00	1. SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)のprプロジェクトメンバーとして国際ワークショップやシンポジウムを行う 2. 那覇市都市計画審議会 委員 3. 那覇市公設市場整備基本計画策定事業外部委員会 委員 4. 沖縄県国土利用計画審議会 委員 5. 沖縄県指定管理者制度運用委員会 委員 6. 沖縄県地方港湾委員会 委員 7. 沖縄県高等学校生徒商業研究発表会 審査委員		0.15	1. パラオ共和国で行われたSATREPSのBlue Fins ワークショップを3月に開催し、「パラオ共和国における観光の現状と課題:観光の重要性和その影響」について発表した。 2. 那覇市都市計画審議会 委員 3. 那覇市公設市場整備基本計画策定事業外部委員会 委員 4. 沖縄県国土利用計画審議会 委員 5. 沖縄県指定管理者制度運用委員会 委員 6. 沖縄県公共事業評価委員会 委員 7. マリントウンMICEまちづくりビジョン策定委員 8. 沖縄県高等学校生徒商業研究発表会 審査委員
管理 運営	0.00	1. 委員会委員 2. 3年次指導教員の責務を果たす		0.10	1. 将来計画委員、カリキュラム委員として、責務を果たした。 2. 3年次指導教員として責務を果たした。
	0.00			0.00	
計	0.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		牛窪 潔	所 属		観光産業科学部 産業経営学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.40	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業発展論(英語による授業)の教材(改訂版)と授業内容・授業方法の検証 ○マネジメント論(実践論・応用論)の教材(改訂版)と授業内容・授業方法の検証 ○中小企業経営論の教材(改訂版)と授業内容・授業方法の検証 ○FDの実施(専門科目の英語教育の改善施策) ○統計解析の教材(改訂版)の検証 ○大学院の授業のパワーポイント化 ○担当科目の単位の実質化を図る ○1年次指導教員としての任務を全うする ○ゼミの学生に対する進路指導と就活対策 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> ○教材の改訂により、グループワークの質が高まり、学生の理解度と満足度も向上した。 ○教材の改訂により、ケース視聴後のディスカッションの質が高まり、理解度と満足度も向上した。 ○教材の改訂により、グループワークの質が高まり、学生の理解度と満足度も向上した。 ○FDの実施:3月に将来計画委員会と教育委員会のメンバーに参加いただきFDを実施する予定。 ○統計解析の教材(改訂版)は、4年次のゼミで活用し、卒業論文の質的向上に貢献した。 ○Practice of ManagementのエッセンスをPPT化することによって概要説明の質的向上に繋がった。 ○シラパスの充実、授業内容と方法の改善、テストの見直し、教材の改善を実施し効果に繋がった。 ○1年次生の個別履修指導の充実を図った。5月と11月に年次懇談会を開催した。 ○ゼミの学生は、全員進路が決定した。
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ○ドラッカー3大古典に関する文献研究と論文の作成 ○科研費「沖縄型マネジメントに関する一考察」の申請 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ○ドラッカー3大古典に関する論文は3月に完成予定。 ○科研費「沖縄型マネジメントに関する一考察」の申請をした。
社会 貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○琉球大学サテライト・イブニング・カレッジの管理・運営・評価 ○沖縄県生産性本部副会長としての任務遂行 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ○琉球大学サテライト・イブニング・カレッジでの任務を全うしたが、RSEC(琉大生が参加する)は、本年度をもって終了することになった。 ○理事会と総会に副会長として出席し、任務を全うした。
管理 運営	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ○ORCC事業に関する委員会への出席 ○学部改組に拘わる会議の運営と設置計画書の作成 ○評議員としての課される委員会への参加と効果的な任務遂行 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ○ORCC事業に関する委員会は、約月一度頻度で出席した。 ○国際地域創造学部の特にカリキュラムに関する計画書の作成を担当した。 ○評議員としての課される委員会へは全て出席し、任務を全うした。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前	橋本 俊作		所 属	観光産業科学部 産業経営学科	職 名	教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定	業務 ウエイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・学生支援	0.40	学生のキャリア形成に必須となる基礎力醸成の支援 ・キャリアデザイン力、インターンシップ活動、英語力向上	0.40	<p><学生のキャリア形成に必須となる基礎力醸成の支援> ・キャリアデザイン力:キャリア開発演習の内容を昨年度と変更し、「社会で求められる力」を、学生グループにより自ら企業にインタビューし、結果を基に考察を行い、実際の企業現場で求められる力の特定を行った。結果はグループによる発表会開催により、共有を図った。また、学生自らが企業にアプローチすることにより、自主性の醸成にも繋がった。 ・インターンシップ:海外インターンシップ(バリ島)をさらに充実させた。また、インターンシップ先開拓を含め、アプローチは基本的に学生自らが行う形式に変更することにより、自主性が醸成された。活動結果は発表会開催により、共有を図った。 ・英語力の向上:Introduction to Bujiness EnglishではTOEIC受検を必須としてきたが、視聴覚教材(CNN Student News、TED)を毎回使用したことが効果を上げ、平均スコアが上昇した。 ・留学報告会開催:昨年度、チュラロンコン大学、タマサート大学(いずれもタイ王国)のインターナショナルプログラムに交換留学をした学生2名(1名は昨年9月卒業)に依頼し、後輩に対する留学意欲喚起を目的とした報告会を実施した。 ・大阪、台湾、香港からの講師招聘によるIsland Tourism 特別セミナーの企画、運営、実施を行い、学生の知識のみならず、国際的視野拡大を図った。 ・台湾の天主教輔仁大学を訪問し、学生交流の可能性を打診し、先方から了承を得た。交流協定に向けて学内申請を進めている。</p>		
研究	0.20	・学会発表 1.EATSA (Euro-Asia Tourism Studies Association) 6月 リスボン 2.日本キャリアデザイン学会 9月 愛知 ・学会誌論文掲載 1.日本キャリアデザイン学会 2.日本観光ホスピタリティ教育学会	0.20	<p><学会発表> 1.EATSA:当初予定通り発表を行った。テーマは「The key factor of developing the Japanese hotel industry」 2.日本キャリアデザイン学会:業務の関係で日程が合わず断念した。しかし、H29年3月にシンガポールにおいて開催された、Forum on Asia Tourism 2017において発表を行った。テーマは「Characteristics of Hotel General Managers in Japan」 <学会論文発表> EATSAへのProceedings1本を投稿し掲載された。 当初予定の日本キャリアデザイン学会への投稿は共著者の都合もあり、次年度発表となった。また、日本観光ホスピタリティ教育学会は投稿したものの、掲載に至らなかった。 <共同研究> 上記、シンガポールでの発表の結果、同じ発表者でもあった、SDH Institute 教授のGodofredo Cristobal Utanes氏より共同研究の申し出を受けた。テーマは、F&Bマネージャー、及びホテル総支配人の特性とコンピテンシー<科研費申請> 基盤研究Cに応募した。テーマは「日本におけるホテル経営の教育的、社会的背景と価値の明確化」</p>		
社会貢献	0.10	・キャリアコンサルタント養成講習講師 ・キャリアコンサルタント指導者育成 (一社)日本産業カウンセラー協会 沖縄支部	0.10	<p>・国家資格取得を目的としたキャリアコンサルタント養成講習は、2016年4~7月、10月~12月の2回(各12日)開催され、いずれも講師を務めた。 ・キャリアコンサルタント指導者育成は、不定期ながら勉強会を開催し、キャリア理論について講義を行った。 ・上記、Island Tourism 特別セミナーを他大学学生、市民にも公開した。 ・和歌山大学の要請により、社会人対象の経済産業省委託「観光産業を担う中核人材育成講座」の講師を務めた。 ・近畿大学の要請により、経済産業省委託「観光地経営を担う日本版DMOの人材育成プログラム事業」において、テキストの執筆を行った。</p>		
管理運営	0.30	学科長業務:円滑な学科運営のための業務遂行を図る	0.30	<p>・月1回定例学科会議を、また、必要に応じて臨時学科会議を開催し、学科内の情報共有、意識統一に務めた。 ・保留の形になっていた教員の准教授から教授への昇格を実現した。 ・不明となっていた教員ポスト数の照合を行い、人事よりポスト1の返還について承認を得た。 ・台湾の天主教輔仁大学を訪問し、研究者交流の可能性を打診し、先方から了承を得た。交流協定に向けて学内申請を進めている。 ・上記Island Tourism特別セミナーを旅行ビジネス研究会との共催で開催したことにより、本学教員と他大学教員との交流機会を創ることができた。 また、サービス経営人材育成講座の一環としても開催したことにより、サービス経営に対する関心を高めることができた。 ・法文棟のエレベーターの土日祝非稼働の理由を学部総務に依頼し調査した結果、非稼働の理由がないことを明確にし、稼働を実現し、土日祝に勤務する教員への便益を向上した。</p>		
	0.00		0.00			
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	桑原 浩		所 属	観光産業科学部 産業経営学科		職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」、「観光事業論」の教材改善を図る。 ・担当科目の単位の実質化を図る。 ・個人指導担当1年次生及びゼミ生の学習達成度に関する個人指導を実施する。 ・各学期の開始時及び随時に3年次及び4年次ゼミ生への進路指導を実施する。 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」、「観光事業論」の課題を中心に教材を改善した。 ・上記2科目に課題や発表を増やすことで単位の実質化を図った。 ・個人指導担当1年次生及びゼミ生の学習達成度に関する個人指導を実施した。 ・各学期の開始時及び随時に3年次及び4年次ゼミ生への進路指導を実施した。 		
研究	0.40	研究の種類: 応用的研究、実践的研究 研究テーマ: 東南アジアにおける観光マネジメント、観光ルート開発、フードツーリズム <ul style="list-style-type: none"> ・観光に関する論文を1編以上執筆し公刊する。 ・上記研究テーマに関する研究を学会、学術会議で1回以上発表する。 ・28年度に科学研究費補助金の新規採択が無かった場合、新規に応募を行う。 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・11月タイにて開催された国際会議「International Conference on Emerging Tourism in the Changing World」にて研究発表を行った。 ・前記会議のProceedingにてフードツーリズムに関するfull paperを公刊した。 ・28年度に科学研究費補助金の基盤(C)にて「インドネシア後発地域における観光ファミリービジネスのスタートアップ課題と支援戦略」が新規採択され、同研究に着手した。 		
社会 貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」の公開授業を実施する。 ・JICA草の根技術協力事業「インドネシア共和国南東スラウェシ州ワカトビ県における地域に根差した環境保全型観光開発の推進」(特定非営利法人おきなわ環境クラブが受託)において、マーケティング専門家として参加協力する。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」の公開授業を実施した。 ・JICA草の根技術協力事業「インドネシア共和国南東スラウェシ州ワカトビ県における地域に根差した環境保全型観光開発の推進」(特定非営利法人おきなわ環境クラブが受託)において、マーケティング専門家として担当者とのミーティングを行った。 		
管理 運営	0.10	以下の担当委員会へ積極的に参加する。 ・「全学情報システム運用委員会(部局技術責任者)」 ・「国際交流に関する自己点検・評価委員」 ・「学部図書紀要委員会」		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・「国際交流に関する自己点検・評価委員」に参加した。 ・「学部図書紀要委員会」に参加し、紀要「経済研究」の編集を管理した。 ・「全学情報システム運用委員会(部局技術責任者)」は現時点で未開催。 		
	0.00			0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		多賀 寿史		所 属		観光産業科学部 産業経営学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.30	今年度担当の講義については、適宜視覚に訴える講義や、討論の場を設ける等して、一方的な講義ではなく双方向の講義を心がける。経営学演習において、資格試験や就職に関するサポートをしっかりと行っていく。今年度も教職取得対象者の指導をしっかりと行っていく。				0.30	経営学演習、簿記原理、会計学原理の講義、サテライトの講義、International Accountingの講義をしっかりとこなした。				
研究	0.30	紀要において論文2本(財務会計分野:時価会計に関する制度面と理論面に関するテーマ)をマストに努力を続ける。学会報告等を通じて外部へのプレゼンの機会を設けていく。科研費獲得に向けて様々な対策を講じる。				0.20	今回、3月18日の学会の部会での報告(のれんの減損に関する一考察)を行った。論文については、平成29年度に向けてしっかりと準備を行った。				
社会 貢献	0.20	今年度、メルコ財団(外部の団体)と共催で学内外向けのセミナーを開催する予定である。公開講義、沖国大とキリ学で非常勤、小禄のサテライトキャンパスで講義を通じて、学内だけでなく学大での教育活動を通じて貢献活動をしていく予定。				0.30	メルコ財団と共催で管理会計・地方創生セミナー開催の仕事をこなした。そして、サテライトキャンパスでの講義も滞りなくこなした。				
管理 運営	0.20	今年度担当する教職関係の委員の任務を全うする。そして、今年度は4年次指導教員なので、指導教員としての仕事を全うする。				0.20	教職関連の仕事、指導教員の仕事をしっかりとこなした。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		福井 眞司	所 属		観光産業科学部 産業経営学科
職 名				講 師	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.35	<ul style="list-style-type: none"> 簿記原理1(1年次必修科目)習得の充実を図る。 Eラーニング(WebClass)を活用して、履修学生の個別対応を図る。また講義内容および成績評価をデジタル化して管理・保存する。 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> 簿記原理1について、必修科目であるが、きちんと学習する学生と、ほとんど学習しない学生で学習格差が顕著になってきた(6:4?)。それゆえ、とくに後者の学への対応の必要性が今後の課題である。以下の動画講義の作成準備中。 Eラーニングを活用して、ポイントを絞った短時間の講義動画の配信を計画。 講義内容および成績評価等のデジタル管理・保存のシステム化を完了した。
研究	0.40	<ul style="list-style-type: none"> 大学紀要および所属学会に研究論文を投稿・掲載する。今年度のテーマは、1)「ベンチャー起業の実態と支援システムの再考」2)「会計測定論と公正価値評価についての再考」である。 		0.35	<ul style="list-style-type: none"> 所属学会に2回ほど研究論文をエントリーしたが、時代ニーズの急速な変化に伴い、テーマ変更をアドバイス(却下)されてしまった。研究テーマを再検討して学会誌に、再度投稿をチャレンジする予定である。 簿記教科書(同文館書籍発行)の担当章を執筆した。
社会 貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 簿記会計(金融教育を含む)普及に努める。そのために中・高生および一般社会人(初心者)向けの分かり易い図解教材を作成する。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> とくに今年度は、簿記会計(金融教育を含む)科目の提供要請はなかった。 講義履修者の範囲でアンケートを実施してみると、簿記会計や株式投資、金融科目に対する関心が高いことが判明したが、当該科目の学習機会が少ない。 今後は、会計士・税理士・診断士・FPなど資格試験と合わせて普及実施する。
管理 運営	0.15	<ul style="list-style-type: none"> 学部会議、学科会議および担当委員会の委員活動を確実に遂行する。とくに今年度は、学士教育プログラム委員会が取り組んでいる専門総括的科目の「シラバスの充実」に向け、基本統一フォーム(様式見本)の作成を進める。 		0.15	<ul style="list-style-type: none"> 担当である学士教育プログラム委員について、改組計画もあり、当初の実施計画が進んでいない。次年度は、改組計画とも連動させて、「シラバスの充実」および「ルーブリック統一評価表」の策定に尽力する。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		與那原 建	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.35	○経営戦略論・競争戦略論の講義資料の作成と受講生の評価をふまえた授業の改善、授業評価アンケートの実施 ○経営学演習Ⅰにおける研究指導(ゼミ論文のテーマ設定についての指導)と経営学演習Ⅱにおけるゼミ論文の作成指導 ○ゼミ卒業生との交流会を通じた進路指導			0.35	○担当科目について新たな内容を盛り込んだ講義資料を作成し、受講生からの授業評価をふまえた授業の改善に取り組んだ(事例の追加、WebClassの活用)。授業評価アンケートも実施した(前・後学期)。 ○演習Ⅰにおいて効果的なレジュメの作成およびプレゼンの方法について指導を実施するとともに、ゼミ3年次学生全員の論文テーマも確定した(構想は全員報告済み)。 ○ゼミ論文の作成指導を行い(演習Ⅱ)、ゼミ4年次学生全員(11名)が論文を完成させた(教育後援会の補助を受け、論文集は製本予定)。 ○ゼミ卒業生との交流会を開催し、現役ゼミ生の進路意識を高めることができた(交流会は今後も継続して実施する予定)。		
研究	0.35	○科研費基盤研究(C)の最終報告書の作成 ○ダイナミック能力論にかかわる研究のまとめ			0.30	○科研費基盤研究(C)「沖縄におけるローカル企業の持続的競争優位構築プロセスに関する経営学的研究」の最終報告書を作成し、提出した。 ○ダイナミック能力論に関して既に発表した論文(「ダイナミック能力論の可能性」「ダイナミック能力と両利きのマネジメント」)をもとに同テーマでの研究を整理中。研究成果の公表は次年度を考えている。		
社会貢献	0.20	○地域産業資源活用事業評価委員会・農商工等連携事業評価委員会(内閣府沖縄総合事務局)委員長としての貢献 ○沖縄県産業振興公社中小企業課題解決プロジェクト推進事業審査委員会委員長としての貢献			0.25	○地域産業資源活用事業評価委員会・農商工等連携事業評価委員会(内閣府沖縄総合事務局)委員長として委員会を開催し、申請のあった案件の審査を行い、基準を充足したものを認定した。 ○沖縄県産業振興公社中小企業課題解決プロジェクト推進事業審査委員会委員長として委員会を開催し、申請のあったプロジェクトの審査を行い、基準をクリアしたものに補助金交付を決定した。		
管理運営	0.10	○各種委員会委員としての貢献			0.10	○グローバル教育支援機構アドミッション部門の併任教員(井川先生代理)としてほぼ毎月開催された部門会議およびWGに参加した。 ○危機管理対策検討委員会は開催されなかった。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<small>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</small>			1.00	<small>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</small>		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	